

京写 (コード 6837)

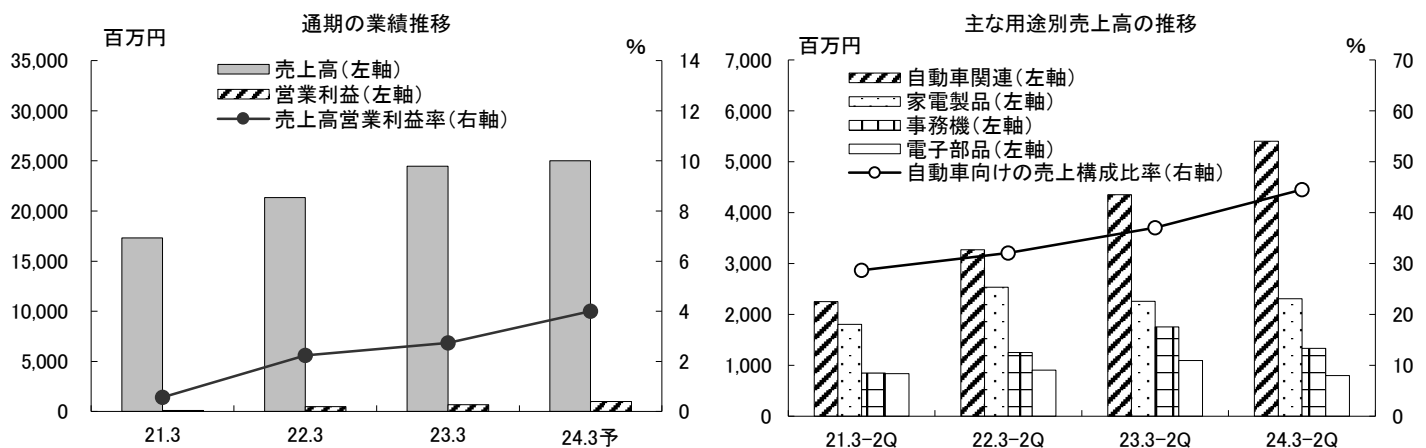
◆各決算期の第2四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
21.3	7,860	▲173	▲23.4	0.0	▲464	▲1,646	814	3,508
22.3	10,186	250	8.9	0.0	▲218	▲257	787	3,772
23.3	11,751	213	5.1	0.0	854	▲279	49	4,203
24.3	12,130	631	20.0	0.0	667	▲520	▲1,080	4,428

◆通期業績推移(連結) (24.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
21.3	17,334	98	▲9.5	0.0	291	▲2,218	524	3,359
22.3	21,337	478	20.2	5.0	▲1,018	▲698	1,338	3,161
23.3	24,462	671	▲33.8	3.0	1,502	▲1,324	1,470	5,091
24.3予	25,000	1,000	39.0	9.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



24年3月期第2四半期の業績概況…24年3月期第2四半期累計期間(23年4~9月)は、ベトナムでの受注増加や国内の自動車向け基板、実装関連が好調に推移し、売上高は前年同期に比べて約3%増えた。利益面では、ベトナムでの収益改善や実装関連の大幅な増収などにより、営業利益は前年同期実績の約3倍に拡大した。

当期の売上高は121億3,000万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は6億3,100万円(同196.0%増)、経常利益は4億4,100万円(同105.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8,700万円(同291.7%増)となった。

製品別の売上高は、片面プリント配線板50億1,900万円(前年同期比10.0%減)、両面プリント配線板54億4,000万円(同13.2%増)、実装関連12億8,500万円(同36.0%増)、その他3億8,600万円(同9.2%減)に。用途別の売上高は、自動車関連54億200万円(同24.2%増)、家電製品23億800万円(同2.1%増)、事務機13億3,400万円(同24.2%減)、電子部品8億200万円(同26.9%減)、電気機器3億4,500万円(同38.1%減)、その他(映像機器、音響機器、アミューズメントなど)6億5,400万円(同16.3%減)となり、自動車関連向けの売上構成比率は前年同期の37.0%から44.5%へ上昇した。

また、地域ごとの売上高(セグメント間の内部売上高を含む)は、日本52億9,600万円(同13.6%増)、中国63億2,300万円(同4.5%減)、インドネシア10億9,600万円(同19.1%減)、

ベトナム 17 億 4,900 万円 (同 112.4%増) など。地域ごとの営業利益は、日本 1 億 1,700 万円 (同 181.3%増)、中国 4 億 1,800 万円 (同 25.1%増)、インドネシア 3,600 万円の損失 (前年同期は 1,800 万円の損失)、ベトナム 1 億 3,800 万円 (同 1 億 3,400 万円の損失) などとなった。

国内では、プリント配線板事業において主力の自動車関連分野の受注が回復したことで堅調に推移し、実装関連事業では産業機器や航空機向けの受注が好調だったことに加え、新規市場の開拓によって通信機器向けの受注が大幅に増加した。海外では、中国で自動車関連分野での受注が回復したものの、事務機分野や、電源など電子部品分野などで受注が減少。一方、ベトナムでは自動車関連分野での需要が旺盛で、サプライチェーン体制再編による中国からの生産移管も加わり、大幅に受注が伸長した。

キャッシュ・フロー (以下、CF) の状況について、当期末現在の現金及び現金同等物残高は 44 億 2,800 万円 (前年同期末比 5.4%増) となった。営業活動 CF は、税金等調整前当期純利益 4 億 3,900 万円 (前年同期比 113.1%増)、減価償却費 4 億 8,100 万円 (同 7.6%増)、売上債権の増加額 4 億 3,500 万円 (前年同期は減少額 3 億 5,400 万円)、棚卸資産の減少額 7 億 8,300 万円 (前年同期比 122.4%増)、仕入債務の減少額 2 億 7,700 万円 (同 61.6%減)、法人税等の支払額 1 億 1,400 万円 (同 7.3%減) などにより、6 億 6,700 万円の収入 (同 21.9%減) となった。投資活動 CF は、有形固定資産の取得による支出 5 億 1,400 万円 (同 89.0%増) などにより、5 億 2,000 万円の支出 (同 86.4%増) となった。財務活動 CF は、短期借入金の純減額 8 億 4,300 万円 (同 1,432.7%増)、長期借入金の返済による支出 1 億 6,500 万円 (前年同期は長期借入金の借入れ及び返済による差引収入額 2 億 200 万円)、配当金の支払額 4,200 万円 (前年同期比 40.0%減) などにより、10 億 8,000 万円の支出 (前年同期は 4,900 万円の収入) となった。

**24 年 3 月期の通期業績見通し**…24 年 3 月期の通期業績は、売上高 250 億円 (前期比 2.2%増)、営業利益 10 億円 (同 48.8%増)、経常利益 8 億 3,000 万円 (同 34.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 5 億 6,000 万円 (前期は 4 億 8,500 万円の赤字) の見通しで、23 年 5 月 12 日時点での会社側発表値から変更は無い。1 株当たりの年間配当金は 9 円の予定。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。

